

こんにちは。
町長です。

「地域おこし協力隊員が頑張っています。」



小鹿野町では、本年4月から地域おこし協力隊員に沢田朋輝氏を委嘱し、昨年度からの2人(太田誠氏、星利彦氏)を加えて3人となりました。

また、本年度中にも新たに隊員に委嘱する予定者が数人おります。

この地域おこし協力隊は、総務省が進めている制度で、都市地域から過疎地域等の条件不利地に住民票を移し、生活拠点を移した人を地方公共団体(市町村等)が「地域おこし協力隊」として委嘱します。隊員は一定期間(概ね1年以上3年以下)地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発、販売、PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、観光事業への協力、住民の生活支援などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住、定着を図る事業です。

総務省から地域おこし協力隊を委嘱する地方公共団体に対し、地方公共団体が隊員の活動に支払う報償費等や起業に要する経費を財政支援してくれる制度です。

地方公共団体としては、行政で出来なかった柔軟な

地域おこし策に取り組むことが出来たり、住民(若者)が定住することによる地域活性化、特に隊員の熱意と行動が地域に大きな刺激を与えてくれることも大いに期待されています。

町としても、地域おこし協力隊の隊員の活動には大変期待しておりますし、最大限の支援をして参りたいと存じます。町民の皆様にも隊員に対し温かい目で見守っていただき、ご指導ご協力をお願い申し上げます。

現在、太田氏はえごま栽培・商品化の事業など、星氏は有害鳥獣対策の事業など、沢田氏はダリア園事業への協力などで、町民の皆様を支えていただき活動しております。

是非、3人の隊員には期間が満了しても、この小鹿野町に残っていただき自立して生活が出来るよう頑張りたいと存じます。

更に、町としても地域おこし協力隊だけでなく、町外から移住して生活する人には様々な支援をして参りたいと考えており、特によそ者、若者は大切にしなければならぬと存じます。

小鹿野町長 森真太郎